



南三陸町長 佐藤 仁

あの悪夢のような東日本大震災から二年九か月が経過し、三度目の新年を迎えました。この間の歳月は、仮設住宅などにお住まいの皆様方にとりましては、なかなか先が見通せない、長く不安な日々ではなかったかと、ご推察をいたしております。さて、昨年十月の南三陸町長選挙におきまして、多くの町民の皆様から温かいご支援を賜り、引き続き町政運営を担わせていただくことになりました。今後、町民皆様からのご意見、ご要望を十分に取り入れながら、全力を挙げて取り組んで参る所存でございます。被災された皆様方の思いを、しっかりと受け止め、一日も早い南三陸町の復興を目指してまい進してまいることを、お約束させていただきます。

### 復興を加速する

「生活再建・住宅再建元年」と位置付けた昨年は、災害公営住宅整備事業、防災集団移転促進事業などの復興事業の柱となる事業に着手するとともに、全国の自治体から数多くの派遣職員を迎え入れ、復興に向けたスピードを加速すべく組織強化を図りました。昨年十二月には、防災集団移転促進事業として戸倉地区に整備を進めておりました「藤浜団地」が、高台の山林等を造成しての防集団地としては、県内で最も早く完成し、今年度にも住宅の再建に着手することができると見通しとなりました。入谷地区、歌津地区に整備を進めておられます災害公営住宅も今年の夏には完成予定であり、入居が始まる見込みとなっております。また、志津川市街地においては、低地部のかさ上げに伴う国道四十五号等の一部付け替えが予定されており、今年度は、町内各地区において復興の進捗が目

に見えて明らかになってまいります。今後の方針といたしましては、「住宅再建の加速化」「生産基盤の復興」「医療・保健・福祉の一体的整備」「教育環境の整備促進」「三陸縦貫自動車道の早期供用開始」「交流人口の拡大」「津波防災都市への挑戦」という七つの柱を中心に、復興まちづくりを推し進めてまいります。復興は、長く険しい道のりであり、立ち止まることなく、小さくてもキラリと光る町を取り戻すため、全身全霊を傾注し、町政運営にあたってまいりますので、町民各位の特段のご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 創造的な復興

南三陸町議会議長 星 喜美男

東日本大震災の発生から二年九か月が過ぎ、三度目の新年を迎えました。



震災で大切なご家族やご親族、ご友人を亡くされた町民皆様、そして、町内外の仮設住宅やみなし仮設にお住まいの町民皆様におかれましては、心から新年を祝うというお気持ちにはまだなられていないものとご推察をいたしておりますが、暦の節目でもあり、何とか年を越せたことに対し、ささやかに新年の挨拶を申し上げます。

町民の皆様方におかれましては、日頃から議会に對しまして、温かいご支援と絶大なご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。昨年は任期満了に伴う通常一般選挙が行われ、

町民の皆様のご信任をいただきました。我々十六名の町議会議員が新たに誕生し、清新の気がみなぎるのを覚えます。今後は、町民皆様の負託に応え、議員一同、心新たな決意のもと、町政の進展と議会の円滑な運営、活性化に精力を傾注し、議会活動に専念してまいりますので、なお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

議会運営が求められております。新年を迎えるにあたり本町議会といたしましては、議会全体が研鑽に努め、さらなる資質の向上を図り、町民の皆様方の信頼と、期待に応えられる議会運営に努め、皆様方の視線で議員一丸となり創造的な復興を成し遂げるよう、全力で職責を全うする覚悟でございます。